

学校建設（ネパール）

ネパール校舎9棟38教室建設 あらたに2棟建設へ



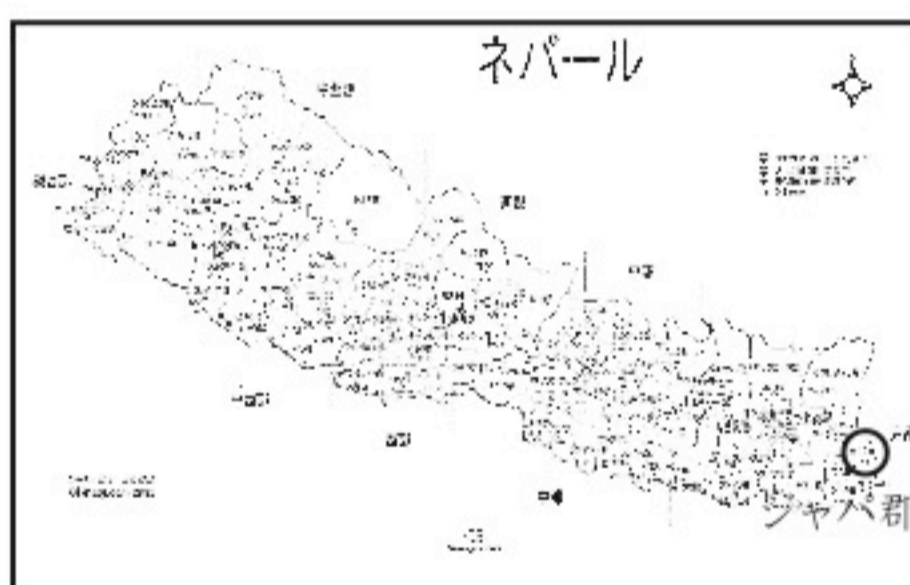
新校舎の前でドナー一行と先生方

支援概況

2011年に始まったネパールにおける学校建設事業は2016年度までに2階建て8教室の校舎2棟、平屋建て4教室の校舎3棟、3教室の校舎2棟、2教室の校舎2棟合計9棟38教室を建設することができました。支援者の皆様のご協力に心から感謝いたします。

このうち2016年11月にはジャパ県のやや北部に位置するスリーニマビ村のスリーニマビ学校に3教室の校舎が完成し、ドナーご列席の下盛大は引き渡し式が行われました。この校舎も学校の要望で青空のような明るいブルーの外壁の校舎です。耐震のための柱が建物の正面に並び校舎を立派に見せています。

2013年に4教室その翌年2階に4教室を増設したラクスマー学校は新校舎建設が触媒となりジャパ県の優秀校の一つになり、従来の10年制の学校(小学校5年、中学校3年、高校2年)から世界の標準である12年制の学校へ移行することができました。ラクスマー学校以外の支援したすべての学校でも生徒数の増加や出席率の向上等教育環境改善による成果が確認されています。



またラクスマー学校の生徒2人に対し、校舎の支援者より奨学金の申し出があり、継続支援が行われています。ラストリアビジャヤ学校に対しても同校支援者よりスポーツ用具、楽器の継続支援が行われています。

2016年度は円高の影響だけでなく、2015年のネパール地震による影響やインドによる経済封鎖の影響で建設資材が高騰し事業の継続が危ぶまれましたが、なんとか支援者のご理解とご協力を得て事業を継続することができました。円高傾向やネパール国内のインフレも落ち着きつつあり2017年度も事業継続の見通しが立っています。すし詰め教室で勉学に励んでいるネパールの子供たちの教育環境を少しでも改善するため今後も1教室でも多く校舎を建設して行きたいと願っています。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

プロジェクトの背景

2009年度より、事業方針として掲げていたカンボジア以外の支援国の検討を開始し調査を進めたところ、ネパールの公立学校の教育環境がカンボジアと同等に劣悪であることが分かった。2010年度の調査により支援対象地域と候補校を具体的に絞り込み、当会がカンボジアで培った建設ノウハウを設計図や資材に反映させながら慎重に準備を進め、現地のガナシャム・メモリアル財団と連携を図りながら2011年12月に2棟を着工し、2013年1月に初めての贈呈式を行った。



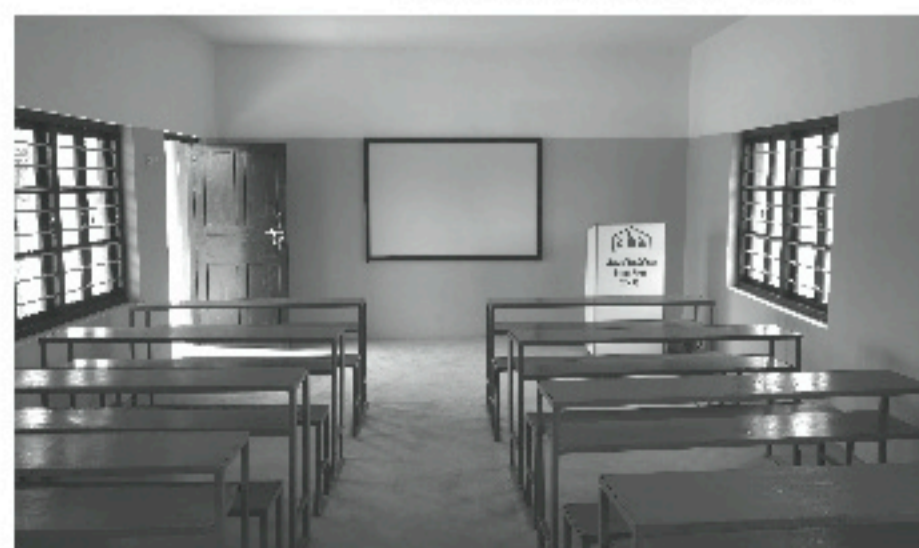
完成した新校舎



式典に入場する生徒、高校には小学生、中学生、高校生が通学



感謝状を受けとるドナー



新校舎教室内部